

# 競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、平成29年度日本陸上競技連盟競技規則に従って行う。
2. 競技者の招集について

- (1) トラック競技の点呼場所は100mスタート地点の後方とする。  
フィールド競技の点呼場所は、当該競技のピットとする。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準とする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック 競技	30分前	15分前	走高跳・走幅跳・投てき	30分前	15分前
			棒高跳	45分前	30分前

※トラック競技は、組により点呼時刻が異なるので十分注意すること。

- (3) 点呼方法  
トラック競技の点呼・・・競技者係の所に集合し点呼を受ける。  
フィールド競技の点呼・・・直接現地に集合して点呼を受ける。
- (4) トラック競技の招集方法  
ア. トラック競技に出場する競技者は、出場種目の招集開始時刻がきたら、招集場所にて自分のナンバーカードを競技者係に見せ、チェックを受ける。  
イ. 点呼を終えた後も勝手に招集所を離れないこと。移動は競技者係の誘導による。  
ウ. 他競技に出場の競技者については、競技者自身または監督により、その旨を競技者係およびその競技の審判員に申し出て出場を許可してもらう。  
エ. 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権（きけん）したものとみなす。  
オ. 四種競技については、それぞれの種目ごとに点呼を受けること。

## 3. トラック競技について

- (1) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- (2) 競技者はスタート前に競技者係より腰ナンバーカードを借り受け、短パンの右腰やや後ろにつける。フィニッシュ後必ず係に戻す。
- (3) リレーのオーダーは、次の時間までに競技者係に提出する。時間までに提出されない場合は棄権とみなす。  
・各ラウンドの第1組日招集開始時刻の60分前まで
- (4) リレーではバトンパスが終わったら、自分のレーンのマークをはずすこと。なお、マークは主催者側で準備したものをを使用すること。
- (5) 準決勝・決勝の走路順は本部において抽選決定し、招集所に掲示する。
- (6) プラスアルファについて、同記録でそれが規定数より多い場合は、本部にて抽選とする。
- (7) 共通男子1500m決勝、女子1500m決勝は16名で行う。  
男女の800m決勝は2組とし、A決勝が予選1着プラスタイム上位者 B決勝が残りのプラス進出者とする。順位は2組を総合して決定する。
- (8) 男女200m、男子400m決勝は、予選上位16名によるタイムレース2組で行う。

## 4. フィールド競技について

- (1) 走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。  
男子（練習1m40） 1m45（以後5cm上がり） 1m70以後3cm上がりとする。  
女子（練習1m15） 1m20（以後5cm上がり） 1m45以後3cm上がりとする。  
四種競技 男子（練習1m30） 1m35（以後5cm上がり） 1m65以後3cm上がりとする。  
女子（練習1m05） 1m10（以後5cm上がり） 1m40以後3cm上がりとする。
- (2) 棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。  
（練習2m00） 2m00以後10cm上げ（出場者の状況、天候などによる変更あり）。
- (3) 走幅跳は予選を行う。予選通過標準記録は下記のとおりとする。  
男子 走幅跳 5m50 女子 走幅跳 4m30  
通過記録を超えた者が12名に満たない場合は、上位から12位及び12番目と同順位の選手を決勝に出場させる。
- (4) 走幅跳の予選および走高跳はA・Bピットを使用する。
- (5) 砲丸投は男女とも予選を行わない。
- (6) 走幅跳、砲丸投における計測ラインは下記のとおりとする（当日の天候などによる変更あり）。  
男子 走幅跳 4m00 砲丸投 6m00  
女子 走幅跳 3m00 砲丸投 6m00

## 5. その他

- (1) 8位までの入賞者には賞状を授与する。
- (2) 表彰は決勝終了後直ちに行うので、3位までに入賞した競技者はそのまま本部前に集合すること。他種目と重なって出られないときは代理のものを出す。（表彰は3位まで、4位以下は1Fホールに取りに来る）
- (3) 競技者以外の者は、競技場内に立ち入らないこと。（特に本部前、フィニッシュ付近は通行禁止）
- (4) ウォーミングアップは競技の妨げにならないように、本競技場内で行って良い。場合によりバックストレートを開放する。
- (5) 自分のゴミは持ち帰ること。ゴミ箱は使用できない。
- (6) スタート・フィニッシュ付近では静かにする。
- (7) 1500m、3000mで周回遅れになった競技者は、競技を中止させることもある。
- (8) 競技の進行上、競技開始時刻などに変更が出る場合もあるので、放送を聞きもらさぬように注意する。
- (9) 競技場および練習場所に練習用の個人器具を持ち込むことは禁止する。（棒高跳のポールを除く）